

---

# 涼宮ハルヒの削除

AK28号

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

涼宮ハルヒの削除

### 【ISBN】

9787431

### 【作者名】

AK28号

### 【あらすじ】

キヨンのもとに現れた謎の転校生、神谷西。  
一体彼は何者か？

第一話 神谷西（前書き）

あつ涼宮の出番忘れてた

## 第1話 神谷西

岡部「転校生の神谷西くんだ」

神谷「…………」

岡部「神谷くん?挨拶」

神谷「…………神谷だす」

岡部「…………」

何だかガラの悪一に男子がそこにいた。

岡部「じゃあ神谷くんはそこに座つて」

神谷「うえーーー」

キヨン「(げつ俺の隣か?)」

神谷「よみピク」

キヨン「ーー(今…俺に言つたのか?)」

その後もその神谷という奴は  
先生に当てられる度、即答で  
「知らね」と言つたり…

物理の時間俺を凝視して来たりした。

キヨン「セヒ部活行くか、」

神谷「…………」

キヨン「（なんで…神谷もつこして来るんだ？）」

キヨン「何でつこして来るんだ？」

神谷「いいから、いいから気にしないで」

キヨン「（気になるわ…）」

結局、神谷は部屋までつこして来た。

神谷「うううう…助け求めてんの？」

キヨン「（今のは…俺に聞いたのか？）」

神谷「おじやましあず」

キヨン「あつあつ…」

みぐる「えつ」

古泉「…」

長門「…」

神谷「…………」

キヨン「…………」

神谷「ねえ……」

キヨン「ん?」

神谷「助け求めてねーじやん」

キヨン「（部室に入つて第一声がそれか……）」

神谷「だんぢょひ～ああ一部じゃなくて団だもんな」

キヨン「あんまり触るな」

神谷「で団長つて誰？お前？」

キヨン「（俺が団長だったりもつとまともな活動するよ……）」

古泉「失礼ですが貴方は？」

神谷「転校ちえーでーす」

みぐる「転校生？」

キヨン「うちのクラスに転校して来た神谷西ですよ」

みぐる「へえー……」

長門「…………」

神谷「あれ？これってマジックカードのトレカじゃね？？懷いー」

古泉「…………」

神谷がいなくなつた後  
俺は古泉に呼ばれた。

古泉「他でもない神谷さんの事ですが…」

キヨン「ああ…言っちゃあ何だか嫌いなタイプだな

古泉「いえそういう事ではなく

キヨン「？」

古泉「実は彼が転校して来る事は今日まで我々の機関に全く情報が  
なかつたんです」

キヨン「？と云つて」

古泉「わかりませんか？厳重に監視されている箇のこの学校のデータ  
が今日まで不明だつた」

キヨン「…ハルヒ絡みか？」

古泉「恐らく」

その後長門にも呼び出された。

長門「神谷西は歴じて」

キヨン「古泉から聞いた」

長門「彼からは本来有機生命体としてある筈の情報が全く存在しない」

キヨン「有機生命体としてある筈の情報?」

長門「血液、骨、筋肉が存在しない。つまり彼は有機生命体ではない」

キヨン「長門と同じ情報何たらつー事か?」

長門「やつではない。そもそも彼には生体反応がない、生物ではない可能性もある」

キヨン「マジか…」

一体、神谷西とは何者なんだ?

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8743j/>

---

涼宮ハルヒの削除

2010年10月9日21時44分発行